

令和8年5月18日

件名 護衛艦「かが」の岩国基地への寄港について

概要 このことについて、本日（18日）、中国四国防衛局から説明があり、これを受けて要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日時：令和8年5月18日 16時00分～
 - 2 相手方：中国四国防衛局企画部長 有賀 元宏（ありが もとひろ）
 - 3 対応者：基地政策担当部長 村上 武史（むらかみ たけし）
 - 4 国からの説明内容：別紙のとおり
- 5 国への確認事項及び回答
- 日米共同訓練の概要について
本年6月に海上自衛隊の護衛艦「かが」が米軍F-35Bとともにクロスデッキを含む各種戦術訓練等を実施する予定であるが、細部については、調整中であり、相手国との関係もあることから、お答えは差し控える。
 - 岩国基地への寄港理由について
岩国基地所在の米軍部隊が、米軍F-35Bの積載に必要な機材を保有していること、護衛艦「かが」が寄港可能な港湾施設を有していることなどから、岩国基地を使用するものである。
 - 着艦訓練の実施場所について
訓練の実施場所を含め、訓練の細部については、調整中であり、相手国との関係もあることから、お答えは差し控える。
なお、当該訓練については、岩国周辺において実施することは想定していない。
 - 寄港期間中の護衛艦への発着艦について
今回の護衛艦「かが」の寄港は、機材搭載のみが目的であり、寄港期間中、訓練を含め米軍F-35Bの発着艦は実施しない。
 - 搭載作業の実施時間（夜間実施の有無）について
搭載作業の細部の時間等については、現在調整中であるが、地元の皆様の生活への影響が最小限となるよう十分に配慮して実施するよう努める。
 - 訓練終了後の岩国基地への寄港について
現時点で、訓練終了後に護衛艦「かが」が岩国基地に寄港する予定はない。

○ 今後の自衛艦の岩国基地への入港、運用について

今回は、米軍F-35Bの積載に必要な機材を事前に搭載するため、護衛艦「かが」が岩国基地に一時的に寄港するものである。

今後については、現時点で、「いずも」型護衛艦へのF-35Bの積載に必要な機材を事前に搭載するために、自衛艦が岩国基地に入港する具体的な計画はない。

いずれにしても、自衛艦の入港情報については、適時適切な情報提供に努める。

6 国への要請内容（口頭要請）及び回答

【要請内容】

- 住民生活に影響が及ぶことのないよう十分配慮すること。
特に、艦船の入港にあたっては、関係機関への事前連絡を行い、民間の船舶等への安全に細心の注意を払うこと。
- 住民に不安を与えないよう十分配慮すること。
- 岩国基地を軍艦等の母港及び定期的な寄港地としないこと。

【回答内容】

- 本日の要請については承った。
- 要請の内容については、直ちに本省に報告する。